



伝統文化事業「茶道体験」

令和元年10月28日(月)と11月1日(金)に、本校会議室にて茶道体験を実施しました。体験したのはフードデザインを選択している3年生です。裏千家教授 山田宗和先生他3名の先生方に教えていただきました。茶道体験は今年で8年目になります。緊張しましたが、「一期一会」という、「人との出会いを一生に一度のもの」と思い、相手に対し最善を尽くす」精神を大事にして頑張りました。



はじめに先生方のお手本を見て一連の流れを学びました。

亭主、半東(はんとう)、水屋、また正客、連客のそれぞれを役割分担して体験しました。



袱紗のたたみ方やお茶の点て方、お菓子の頂き方など、丁寧に教わりました。

生徒の感想

- ・難しいことがたくさんあったけど、それに見合うような素晴らしい文化だと思った。
- ・茶道には日本人の丁寧さや繊細さなどの良い部分がつまっていると感じた。
- ・日本の文化、歴史に触れることができよかった。
- ・「和敬清寂」という言葉の意味を聞いて、すごくきれいな言葉だと思った。
- ・将来お茶を頂く場面があれば、今回教えていただいたようにしたいと思う。
- ・掛け軸やお花、お茶碗、お菓子など、お茶以外にも味わうところがあるのが、茶道の魅力だと思う。



質問の時間には、「和敬清寂」の意味や、その他茶道に関することをたくさん教えていただきました。



貴重な体験ができました。
ありがとうございました。